

政策 07 人と人がふれあうまちづくり

施策 02 にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿 ・祭りやイベント、市民同士のふれあい、居住するなかで、わがまちに「愛着」を感じる市民が増えています。 ・祭りやイベント、まちの魅力を活用してにぎわい（交流人口）が創出されています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	わがまちに「愛着」を感じる市民の割合（％） 【市民活動課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		69.1	64.9	78.3	75	☀️ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が13.4%増加した。これは、数値取得の基であるアンケートの回答項目の変更による影響であり、実質は横ばい傾向にあると考える。また、各種の祭りやイベントへの参加者数も、ここ数年、大きな増減は見られない。					☀️ (向上)
						☀️ (向上)
						☀️ (達成)

指標	観光入込客数（人） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		1,169,300	1,141,066	1,137,241	1,179,300	☔️ (低下)
評価	前回とほぼ横ばいだが、目標値からは剥離している。森林公園の利用者が約1万2千人（約1%）減少したものの、他のまつり等の参加者は増加している。森林公園については、植樹祭に伴う整備工事の影響も考えられることから、植樹祭終了後に利用者が増加することが期待される。					☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
						(---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 イベントを通じたふれあいの推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市民同士のふれあいの場・機会への参加の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【産業課】	45.3	43.8	43.4	50	☔ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）はほぼ横ばいである。さくらまつりや市民祭の参加割合が7割近くある一方で、その他のイベントは4～1割程度であることから、周知方法や内容について見直すことで、向上の余地はあると考えられる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 観光・レクリエーション資源の充実

指標	観光・レクリエーション資源に対する市民満足度（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【産業課】	55.9	56	52	58	☔ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が4ポイント減少した。「普通」と答えている人約半数であり、「どちらかといえば不満」と「不満」で3割に達する。観光スポットに恵まれたエリアではないが、関係機関とも連携しながら、市の魅力を発掘し、それをより多くの人に知ってもらえるような取り組みが必要だと考えられる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 国際交流・地域間交流の推進

指標	外国人や国内他地域の人と相手の文化を尊重して接することができる市民の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【健康都市推進室】	70	66.7	65.3	73	☔ (低下)
評価	平成29年度と平成30年度を比較すると、1.4ポイント指標が低下し、平成27年から連続して数値が低下した。アンケートの選択肢は「1理解して接することができる」「2ある程度理解して接することができる」「3あまり理解して接することはできない」「4理解して接することはできない」の4択であり、このうち1と2の回答者が減るほか、3と4の回答者も1.8ポイント低下しており、無回答者の割合が3.2ポイント上がっている。この分野への関心そのものの低下が背景にあると考えられる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)